



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3277 回例会・2020 年 1 月 29 日

## 本日のプログラム

### 新入会員卓話「自己紹介」

㈱総合保険北見 代表取締役 石川 孝祐 会員

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

## 『ロータリーは世界をつなぐ』

R. I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー

## 第 3276 回例会（1月22日）の記録

**司会** 帰山親睦活動委員長

**ロータリーソング** 四つのテスト

**会長挨拶** 永田副会長

皆さんこんにちは。長屋会長が葬儀の為に欠席という事になり、先日お電話を頂きまして代理のご挨拶をさせて頂く事になりました。本日は昨年の8月末に旭川で開催されたライラセミナーにご参加された高谷さんと佐藤さんにお越しを頂いております。

今日は、今年第一回目のグループ談議で皆様方から各グループで、各テーブルで出されたお話を聞いて感じた事をちょっと話させて頂きたいと思っております。皆さんは健康の事を中心にお話されたように私は感じました。このロータリークラブというものは、仕事を通じて社会に奉仕をするという団体である訳でして、体を大切にすることはまずビジネスをするにしても一番大事な事ですが、やはり仕事の話を聞いて頂きたかったかなという風に思うわけでありまして。私も昨年までこの経済界の代表者の1人として、10年間頑張ってきた訳であります。北見は一次産業も大変良い状況だという話を聞いております。このお金をどうやって回して貰おうかという事が地域の大きな活力を生む原資になる訳でございます。

それともう一つ、私が3～4年前に東京で学生時代の仲間と会った時にこう言われました。周りにいた3人位がもうリタイアをしている人達でした。当人はたまたま経営者でありまして、どうも噛み合わないという訳です。現場から離れた人間と現場の人間とでは、ある程度の年齢になると話をしても中々噛み合わないやな、永田と話している時がなんか噛み合うんだなと言うのです。要するに、病気の話とか孫の話とか、そんな話になっていくという話が当時出ました。なるべくそうならないようにしようという気持ちでいた訳であります。その後こんな話もありました。これは農協の組合長の会議であるそうですが、講演会があって、スマホにお孫さんの写真が載っている方はどれ位いますかねと講演会の講師が尋ねたそうであります。そうしましたら、約半分近い方がスマホにお孫さんの写真が載っていたそうです。そういう方々はもうリタイアして交代して頂いた方がいいのではないのでしょうかと、スッパリと言ったそうです。そういう風な笑い話ではなく、今はそういう時代になってきているなという風に感じます。

先日もある会議所の大先輩とお話をした時に、耳に入ってくる言葉が段々と何を言っているか分からなくなっている。これがやっぱり年齢とともに仕方がないと思っておりますけれども、その方の話では、横文字がセミナー等に行きますと多く、ある程度の英語を並べた略字なら部分的にある程度分かるけれども、ABCとかC B Cとか言われても全く分からない、やっぱり俺はもう駄目だなというお話を先日もちょっとさせて頂きました。

でも矢張り元気というのは基本的に大事な事でありまして、若い人達は色々な疑問を持つから年上の我々に色々な事を尋ねて来られる訳であります。この疑問というのは、そこにいらっしゃる高谷さんと佐藤さんにおいてもずっと持ち続けるべきだと思います。

私も、疑問、疑問、疑問の中で、どうしてこうなの？どうしてこうやったらダメなの？という事を会社の方でやった結果が今まであったと、そういう風に思います。疑問というのは若い皆さんにも是非持っていて、それを補うのがここにいる先輩の皆さん方かなと思います。そしてこの1年、ここにいらしている方全てが北見経済の先導者であり、業界を代表する方々ばかりだと思います。頑張っていて、立派なおホーツク経済圏をまた1年間作りましょう。どうぞよろしくお願いたします。

### 幹事報告 潮田幹事

1. 次年度ですが、北見東ロータリークラブからガバナー補佐に山本貴一さんが輩出されまして、その山本ガバナー補佐からの依頼で、次々年度に北見ロータリークラブでライラセミナーを行って欲しいというご依頼が来ました。そこで急遽臨時の理事役員会を開催し、全会一致で承認という事になり、2021～2022年度にライラセミナーを北見ロータリークラブ主幹で行わせて頂く事となりましたのでご報告致します。また、実行委員長としまして今年度親睦委員長を務めております帰山哲雄会員、下元陽司会員が副委員長として輩出されました事を併せてご報告致します。
2. R I 2530地区ガバナーより『復興フォーラムin福島』のご案内が届いております。開催日は3月21日、22日となっております。参加希望の方は事務局までお願い致します。
3. 国際ソロプチミスト北見様から2019認証40周年記念誌が届いております。



## プログラム 「ライラセミナー報告会」

梅津ローターアクト副委員長

昨年の8月31日と9月1日にライラセミナーが開催されました。ロータリーの青少年指導者育成プログラムという事で、『北の大地で新たな時代から未来へ 地域の活性化を考える』というテーマで、ホストが旭川南ロータリークラブさんで行われました。参加された方々は非常に大変だったかと思いますが、この後発表して頂きたいと思っております。



北見信用金庫本店融資課 高谷様

ライラセミナープログラムは2日間に構成されており、1日目は旭山動物園の視察、園長坂東元氏の基調講演、その後決められていた各グループに分かれて、決められた議題を基にグループディスカッション1を100分、懇親会の後にグループディスカッション2を100分、夜の10時に1日目が終了、2日目に8時から全体会議感想文執筆後、各グループの発表を行い、11時に閉会式があり解散といった流れでした。

1日目には坂東元氏の基調講演がありました。その講話の中で、坂東園長は経営が成り立っていない当時の状況から、人気動物園になるまでどのような取り組みをしたのかという事をお話されておりました。園長になりたての当時は来園者数が少なくなっている状況で、来園者数を増加させる為に従業員の考え方を大きく変化させたとお話をしておりました。その中で、利益の追求ではなく、まず来園者に楽しんでもらう事を第一に考えて経営をしたというのが、私の中で感じる部分がありました。利益の追求は大事な事です。追求しなければ会社の経営は成り立っていかないとはいえるのですが、利益の追求だけをしていてもお客様は再度利用してくれないかもしれない。大事なのは利益の追求の中でもお客様第一の精神、困っている事や心配事を私達がお客様の為に全力でやるというのが大事だと思います。それがお互いを信頼出来る事になり、私でいけば地域密着とした金融機関となっていくと改めて感じる事が出来ました。

この研修の大部分を占めるグループディスカッションはテーマを基に9つのグループに分かれて発表しました。私達のグループでは、各々の市町村に目を向け、人口と就職先の減少をどのように改善していけば良いのか、地域の課題や可能性、どのような対策が必要になっていくのかという事に着目し意見を出し合いました。私はそのグループディスカッションのサブリーダーとして、グループの意見を聞いて発表の文章を考えました。グループには交通機関の事務員、不動産会社の営業、市町村職員と様々な業種の方々と交流する事が出来ましたし、色々な観点からの意見があり、自分1人では気付けなかった部分が多く、とても勉強になりました。

今回行かせて頂く事に決まった時、どんな事をするのか、どんな人がいるのか、まず楽しめるのか、と様々な不安がありました。ロータリークラブの皆様が考えて下さったプログラム構成により、人として成長する事が出来ました。社会人となって3年目という事もあり、まだ狭い視野でしか物事を考えられなかった事が、様々な面で色々な業種の方々と意見交換出来た事で、色々な観点から物事が見られるようになったのではないかと考えています。また、旭川へ行く際に運転して下さい北洋証券の松島さん、北海道電気保安協会の梅津さん、本当にありがとうございました。このようなセミナーを開催して下さいロータリーの皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

桑原電装(株)通信事業部 佐藤様

ライラセミナーの1日目は旭山動物園の視察がありました。視察は自由行動で様々な種類の動物達を見る機会があまり無かったのが嬉しかったです。視察が終わった後に園長の坂東さんによる基調講演が始まりました。坂東さんのお話の中で衝撃を受けたのは、昔の旭山動物園は動物園主体で成り立っている動物園ではなく、動物園の直ぐ近くにある遊園地の方に人気があったという事です。私が小さい頃には既に有名な動物園は旭山動物園というイメージが大きかったのもとても驚きました。その中で旭山動物園の人気の無かった頃に行った取り組みが、今の私の仕事にも活かせる事が沢山ありました。そして考え方が大きく変わりました。それは利益追求ではなく価値の追求をする事です。旭山動物園以外の動物園では珍しい動物を取り入れての集客が多かったのですが、その頃の旭山動物園は経済的に苦しかったと坂東さんは仰っていました。そこでお金がなくても人を呼び込める方法がないかと工夫したのです。その方法がワンポイントガイドでした。その内容は、各場所に配置されている動物達の近くに絵などを用いて詳しく説明している掲示板みたいな物でした。その絵を見た人達は『こんな動物なんだ』と、その動物について興味が湧くのと、もっと色々な動物の情報が気になってワクワク感を来園者に与えていきました。坂東さんは珍しい動物を旭山動物園に招かず、動物園本来の楽しみ方を教えてくれたのだと私は思いました。

坂東さんの基調講演が終わった後、グループの中で地域活性化について話し合いました。私達のグループでは、大学等に進学した若者達が社会に出た時に地元に戻って来ない事について深く掘り下げて話し合いをしました。その結果私達のグループで出した答えは、今社会に出ている若者達を沢山地元に戻す事は難しいと考え、これからの未来に社会人になっていく小さい子供達に、今自分が暮らしている地元がどれだけ良い所なのかを伝えるべきだという事でした。これだけ色々な地域から集まって出した案が実現出来たらいいなと、漠然ではありますが、セミナーに参加しないとこのような事を考える機会は無かったですし、参加出来るとても今は嬉しい事です。

最初は会社から1人で、しかも初対面の人しかいないような所で話し合いをする事が恐怖でしたが、参加してみたら皆さん優しく、最年少という事もあってか、とても良くして下さいました。社会人1年目の未熟な頭で一生懸命社会について考え、ロータリークラブの地域活性化の底上げや企業の繋がり、維持の大切さを身にしみて感じました。ライラセミナーに参加させてくれた桑原社長には本当に感謝しています。旭川まで運転してくれた北洋証券の松島さん、北海道電気保安協会の梅津さん、本当にありがとうございました。自分が社会人としてもっと成長するべき点が沢山見つけられ、桑原社長のお言葉で『色々なお客様を受ける事は大変だと思うけれども、それも勉強だから頑張ってね』というお言葉を、辛いと思った時に思い出して日々頑張っていきます。ありがとうございました。



## 【次回2月5日】 グループ談義【8】 「あなたの好きな歴史上の日本人は？」

**編集後記** やつと雪も降り、本格的な冬になってきました。体調管理に気をつけましょう。(N.I)

2019～2020年度 北見R.C.活動方針

## ロータリーに誇りを持ち行動する

2019～2020年度 北見RC ●会長/長屋 憲明 ●幹事/潮田 豊 ●週報編集/柏尾 典秀

### 社会奉仕とは

ロータリーの第三奉仕部門で、ロータリアン一人一人、又はクラブが地域社会や国際社会のニーズに応え、生活の質を向上させる為のプロジェクトや活動を言います。